

令和元年度 第2回白州地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和元年11月21日（木曜日）
午後7時30分開会～午後9時00分閉会
- 2 開催場所 はくしゅう館 2階会議室（第2会議室）
- 3 出席委員 山田輝夫、宮澤 護、小野光一、小野雅子、高木高雄
横森 勝、鈴木厚美、白砂 勇、堀内 弘、松野 進
名取和子、中山真理子、小林秀彦、渡辺幹治
- 4 欠席委員 中山透、山下昭彦
- 5 事務局員 支所長 大輪 弘 地域市民課市民担当 宮川 勉
- 6 議 題 (1) 白州地域委員会各小委員会における経過報告について
(2) 令和元年度白州地域委員会予算使途提案事業執行状況について
(3) 令和2年度白州地域委員会予算使途提案事業について
(4) その他
- 7 公開・非公開の別 公開・ 非公開（理由：非公開の場合は理由を記入）
- 8 傍聴人数 0人

司会（事務局）

- 1 開会（宮澤護副会長）
- 2 会長あいさつ（山田輝夫会長）
- 3 支所長あいさつ（大輪弘支所長）
- 4 議事録署名人 名取和子委員、小野雅子委員
- 5 議事

議長：第1号議案『白州地域委員会における経過報告について』各小委員会の委員長に報告を求める。

広報・防災小委員会委員長

：広報・防災小委員会の今までの活動報告を行う。

6月11日19:00～はくしゅう館2階会議室において広報・防災小委員会を開催。内容についてはH30活動報告及び決算報告、令和元年度事業計画（案）について検討した。令和元年度事業計画については①地域委員会だより第18号について②防災講習会について検討した。

7月4日（木）赤十字奉仕団白州支部主催「救急救命法講習会」を受講する。
7月12日14:10～白州中学校において、中学校防災学習会「救急救命法」が開催され出席する。

7月25日「はくしゅう地域委員会だより第18号」全戸配布を行う。

8月23日19:30～はくしゅう館2階会議室において、講師に「NPO法人減害ネットワーク」の栗林正樹様を迎え、防災講習会「実践重視の、いまずぐできる家庭の減災」を開催した。行政区長はじめ赤十字奉仕団、消防団員の参加により46名の参加者があった。

11月12日18:30～はくしゅう館2階会議室において、赤十字奉仕団主催「応急手当法講習会」が開催され出席する。

11月19日14:10～白州中学校において中学校防災学習会が開催され、応急手当法のサポート等に参加する。

今後の活動計画として、12月11日19:30～はくしゅう館2階会議室において広報・防災小委員会の会議を行う。検討内容はR2.3月発行の地域委員会だよりについてである。また、来年3月末には「はくしゅう地域委員会だより第19号」を発行し全戸配布を行う。

議長：意見・質問については、全ての小委員会の報告が終わったあとで問う。次にイベント・コミュニティ小委員会の経過報告について願う。

イベント・コミュニティ小委員会委員長

：イベント・コミュニティの今までの活動報告を行う。

5月29日19:30～はくしゅう館2階会議室において「第31回北杜市甲斐駒の里名水まつり実行委員会(第1回)」が開催され出席した。役員や日程

が検討された。

5月31日19:30～武川総合支所2階会議室において、「第15回北杜市甲斐駒エリアふるさと祭り実行委員会」が開催され出席した。

8月9日19:30～はくしゅう館2階会議室において、「第31回北杜市甲斐駒の里名水まつり実行委員会（第2回）」が開催され出席した。まつりの方針内容が検討され決定した。

8月14日9:00～甲斐駒センターせせらぎにおいて「第15回北杜市甲斐駒エリアふるさと祭り」の準備、15:00～まつりに参加する。役割分担が決まっているので、それぞれまつりのお手伝いを行う。

8月15日9:00～甲斐駒センターせせらぎの清掃活動を行う。

10月25日8:45～白州総合交流センターにおいて事前準備を行った。

10月26日7:45～「第31回北杜市甲斐駒の里名水まつり」開催当日。役割分担が決まっているので、それぞれまつりのお手伝いを行う。

今後の活動計画として、12月中旬～武川総合支所において「第15回北杜市甲斐駒エリアふるさと祭り実行委員会」が開催され、事業報告があるので出席する。また、来年3月中旬には「第31回北杜市甲斐駒の里名水まつり実行委員会」が開催される予定。

議長：次に提案事業小委員会の経過報告についてお願いします。

提案事業小委員会委員長

：5月28日9:30～はくしゅう館2階会議室において「第1回予算使途提案事業小委員会」を開催する。既に申請のあった21事業の事業内容について審査検討を行い承認した。6月19日10:00～はくしゅう館2階会議室において、「第2回予算使途提案事業小委員会」を開催し3事業について審査検討を行い承認した。

今後の活動報告として、昨年度から実施している予算使途提案事業実施に係る調査については、5月7日の地域委員会において今年度も継続して実施することが承認された。6月1日と6月19日に調査票を送付し調査をお願いしているので、今後は事業が終了次第調査票をまとめ報告をする予定。

議長：各小委員会から経過報告があった。意見・質問を問う。

議長：その他意見、質問を問う。

委員：異議なし。

議長：第2号議案『令和元年度白州地域委員会予算使途提案事業執行状況について』事務局に説明を求める。

事務局：「令和元年度地域委員会予算使途提案事業状況表」の資料に基づき説明。

地域委員会予算使途提案事業については、24事業が承認され、現在12,020,877円の支出負担行為が済んでいる。概算払いで請求のあった事業は22事業あり

既に補助金の支払いは終了している。残り 2 事業については実績報告書が提出され次第内容を確認し、補助金を交付する。11 月 20 日現在の実績報告書の提出は、松原区、前沢区、白須上区、花水区、大坊区であり、5 団体の提出が済んでいる。事業が終了している団体がほとんどであるため、12 月上旬に実績報告書の提出を促す文書を発送する予定。

次に「令和元年度北杜市地域委員会予算使途提案事業一覧表」に基づき説明。これは 11 月 20 日現在の、北杜市の事業一覧表である。白州町については、95.4%の事業の進捗率となっている。

地域活性化方策調査・研究対策事業について説明する。予算額 301,000 円については、今年度「広報・防災小委員会」が中心となり、防災講習会の開催を実施した。また、地域委員会だより第 18 号を 7 月 25 日付けで発行しており、現在 57,477 円の事業を実施している。残額については来年 3 月に発行する地域委員会だより第 19 号を発行する予定。

次に災害・雪害対策推進事業について、地域における災害や雪害時の対策として、各行政区に砂利や砂の配布や防犯等の LED 化の経費とし 206,000 円予算を計上している。今年度台風 19 号の対応として砂の購入や防犯灯が故障による LED 防犯灯への取替えなどで 10 台を購入し計 113,400 円を支出した。

議長：意見・質問等を問う。

委員：異議なし。

議長：第 3 号議案『令和 2 年度白州地域委員会予算使途提案事業』について、事務局に説明を求める。

事務局：地域課からの資料「令和 2 年地域委員会予算使途提案事業額内示について」並びに「令和 2 年度地域委員会予算使途提案事業算出積算根拠」に基づき説明。令和 2 年度は財政課からの当初予算編成方針を受け、歳出の見直しが行われる中、平成 31 年度に対し人口減少分（-24 人分）を勘案した額に決定した。来年度の事業額については、北杜市全体で 107,704,000 円。白州については、12,556,000 円の予定となっている。

まず、来年度の補助金の新規事業については、7 月 25 日発行の地域委員会だより第 18 号において、10 月末までに事業の提案を申し出てくださいよう周知したところ、明治神宮白玉石奉納百周年記念事業実行委員会より大正 9 年 11 月に創建された明治神宮へ白玉石を奉納し続け来年で 100 周年を迎えることからこの節目に記念誌を作成・印刷・配布して地域の歴史や文化の伝統継承を目的とした新規申請があった。

総括表の令和 2 年要望額では昨年ベースで新規枠を含んだ内容になっています。今年より 51,000 円少なくまた新規枠希望額が 40 万円であることから総

額で 45 万円を超えていますので委員会の中で新規枠が適正かなども含めて、来年度の予算使途（案）についての内容をお諮りしたい。

ただし、地域活性化方策調査・研究対策事業、災害・防犯等対策推進事業については、地域委員会だより発行、講習会や土嚢や防犯灯などの事業ですので総括表でお示しした額でお願いしたい。

議長：意見・質問等を問う。

委員：新年度予算において新規分を増額することは可能か

事務局：令和 2 年度予算は財政課からの当初予算編成方針どおりとなります。

委員：名水まつりの予算であるが、他地区のまつりの予算と比べると多いと思う。

今年度の決算もわからないので、仮に 8,200,000 円の事業で 7,500,000 円の支出であれば補助金を返還するという仕組みか

事務局：補助金であるので、決定額より事業費が少なければ補助金を返還することになる。

委員：花水人まつりが中止になったがその場合についても場合によっては返還となるのか

事務局：実施経費が補助金に満たない場合は補助金の返還になる。

委員：補助金については理解したが、名水まつりの予算であるが、他地区のまつりに比べ予算が多い。

委員：甲斐駒地域の夏祭りを「甲斐駒エリアふるさとまつり」として武川と合同で開催することになり、「白州名水まつり」を武川と合同で開催することとして「甲斐駒の里名水まつり」とした経過があるので、多少は他のお祭りに比べると予算は多い。

議長：地域委員会からの補助金だが、他の町は企業からのスポンサーがありお祭りを運営している。白州町は企業のスポンサーがなく独自で実施している点も補助金が多い理由だと思われる。

事務局：その他、地元密着であることから行政区に出店をお願いしており、出店奨励金も交付していることから、地域委員会から交付する補助金が多い要因となっている。

ただし、事務局でも名水まつりの経費削減を実施しており、今年度も看板の自作作成や仮設トイレについてイベント会社に頼まず、独自に外注するなどして経費削減に努めている。

委員：了解した。

議長：まず、令和 2 年度の予算枠を決める前に新規枠の明治神宮白玉石奉納百周年記念事業実行委員会より大正 9 年 1 1 月に創建された明治神宮へ白玉石を奉納し続け来年で 100 周年を迎えることからこの節目に記念誌を作成・印刷・配布して地域の歴史や文化の伝統継承を目的とした新規申請がありましたが、この事

業に対して補助金を出すことについて何か質問はないか？

委員：明治神宮という特定の宗教団体へ対して奉納している事業に対して公費を支出することは、問題はないのか？

委員：今回の事業は明治神宮に対して交付する訳ではなく、白州町民が100年間続けてきたと言う歴史を後世に伝えると言うことも非常に大事だと感じる。宗教団体への交付とは違うと感じる。

委員：了承する。

議長：それでは、新規事業の明治神宮白玉石奉納百周年記念事業実行委員会が行う予定の事業へ補助金を交付することによろしいか？

委員：異議なし

議長：異議なしの意見がでましたので金額は別とし新規事業として明治神宮白玉石奉納百周年記念事業実行委員会が行う事業へ補助金を交付することとします。

議長：それでは新規事業が認められましたので、令和2年の補助金の配分方法について各委員が事務局に案があればご意見をお願いします。

事務局：令和2年度の地域委員会補助金の配分方法ですが、今年度の北杜市甲斐駒の里名水まつり実行委員会への補助は2020東京オリンピック、パラリンピックフランスビーチバレー合宿地として白州体育館が練習場所となっていることから地元へのPRのため事業経費を増額したことから、来年度は20万円削減したいと考えます。次にほっとふるさと推進事業新規枠を5万円削減し10万円と考えています。最後に神宮川沿い桜並木管理整備事業について、減額を考えています。理由としましては、今回の明治神宮白玉石奉納百周年記念事業実行委員会が行う内容について確認したところ、神宮川桜並木管理整備事業に関する記載が盛り込まれること、神宮川桜並木管理整備事業の実施主体に確認したところ、神宮川桜並木管理事業の活動内容を掲載していただけるならば補助金を減額していただいて構わないとの事ですので神宮川桜並木管理整備事業についての令和2年度の補助金は20万円減の25万円を考えています。

議長：事務局から令和2年度の予算案を提案されましたが、何か意見はないか

議長：それでは、この案を来年行われる市長査定に上げ新規案件などの説明を行いたいと思いますが何か意見や質問はありますか。

委員：了承する。

議長：第4号議案『その他』について、事務局に説明を求める。

事務局：北杜市補助金等の適正ガイドラインについて説明を行う。令和2年度提案事業小委員会では今回の北杜市補助金等の適正ガイドラインを基に審査をするよう説明を行う。

また、本日令和2年度の予算案を決めていただきましたが、仮に軽微の予算の増減があった場合には事務局、会長、副会長で変更分を決定させていただきます

たい。

委員：了承する。

議長：第4号議案について委員の皆様からのほかに意見や質問はあるか。

委員：なし。

9 閉会

令和元年 月 日

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 _____ 印